

かさま 社協だより

No.44



編集・発行 2021.4.15

社会福祉法人笠間市社会福祉協議会広報委員会 笠間市美原3-2-11 TEL.0296-77-0730
E-mail info@kasama-syakyo.jp URL http://www.kasama-syakyo.jp/



児童生徒防犯見守り隊（稲田小）

撮影 畠山

も く じ

- ① 令和3年度 社協事業計画および予算…………… 2～3
- ② 児童生徒防犯見守り隊 …………… 4
- ③ 団地情報交換会・笠間市立病院へ応援金を寄付 …………… 5
- ④ ボランティアセンターだより …………… 6～7
- ⑤ 笠間市社会福祉大会・
シトラスリボンプロジェクトinかさま・ちょっといい話 …………… 8
- ⑥ 善意銀行・茨城県立中央病院エール募金のお礼・福祉ヤクルトより寄贈 … 9
- ⑦ インフォメーション …………… 10



この広報誌は赤い羽根共同募金の配分金を受けています。

計画および予算



近年の社会情勢の変化に伴い、地域での身近な交流や支え合いの基盤が弱まってきています。

また、近年急増している大規模な災害に加え、新型コロナウイルス感染症拡大などの影響による新しい生活様式・働き方にも変化が生じ、地域福祉活動やボランティア活動にも大きな影響を与えています。このような状況の中、支援を必要としている方が孤立することのないよう、地域や行政・関係機関と連携を強化しながら包括的な支援体制づくりを進め、一層の協力体制を図ります。

本会は、地域福祉を推進する中核的な団体として、基本理念である「誰もが安心して暮らせる地域社会」の充実に目指し、地域福祉の発展に努めていきます。

重

点

目

標

～地域福祉活動を推進します～

地域住民や関係機関が連携を図り、地域の様々な主体がつながり、支え合う地域共生社会の実現をめざします。また地域住民が他人事を「我が事」として捉え、地域で「丸ごと」受け止め、主体的に解決できる体制の構築に努めます。

笠間市が策定する成年後見人利用促進計画に沿った制度の実現に向け、体制整備を進めます。

～ボランティア活動を推進します～

市民一人ひとりが地域福祉に関する理解と関心をもち、人と人とのつながりを大切にする意識や地域福祉の担い手として、ともにふれあい、心を育むため、講座の充実とボランティア活動の啓発に努めます。

～在宅生活の自立支援を推進します～

支援を必要とする市民が、周囲から孤立することなく、住み慣れた地域で安心した日常生活が送れるよう、必要な福祉サービスを関係機関と連携して提供し、その人らしく暮らすことのできる地域での生活支援を推進します。

～社協体制の強化を図ります～

組織体制の強化と職員の資質向上を図るとともに、安定した法人運営に努め、行政とのパートナーシップで地域福祉を推進します。

また、多くの市民から信頼される市社協に努め、事業を積極的に遂行するための自主財源確保に努めます。



令和3年度

事業協社

1 法人運営事業

- ① 理事会・評議員会の開催及び監査の実施
- ② 正副会長会議の開催
- ③ 部会、委員会等の開催
- ④ 社協会員（法人・特別一般）の加入促進
- ⑤ 善意銀行事業の促進
- ⑥ 連絡調整及び支援協力の充実
- ⑦ 各種会議、研修会の実施及び参加
- ⑧ 指定管理業務等の適正管理
- ⑨ 事務局体制の充実・強化
- ⑩ 福祉人材育成

2 地域福祉推進事業

- ① 小地域福祉活動の推進
- ② 福祉教育の推進
- ③ ボランティアセンターの運営
- ④ 給食サービス（配食・会食）事業
- ⑤ 広報啓発活動の推進
- ⑥ 相談（心配ごと相談・法律相談）事業
- ⑦ 資金等貸付事業
- ⑧ 介護予防・生活支援サービス事業
- ⑨ 就労継続支援B型事業

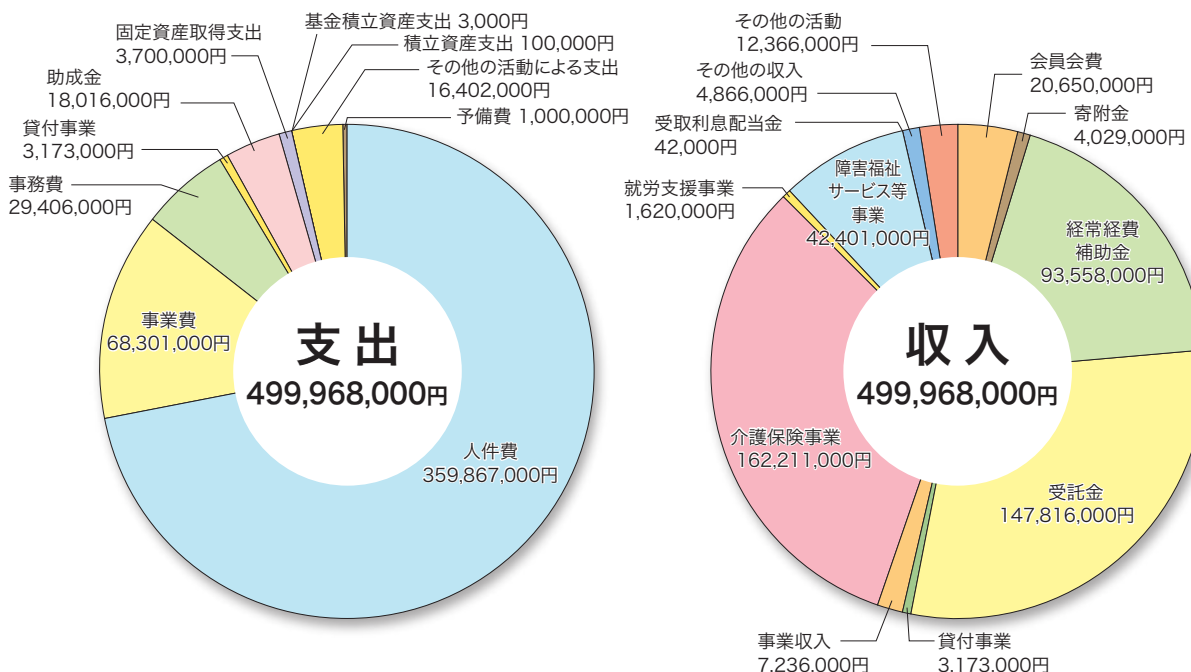
3 受託事業

- ① 地域ケアシステム推進事業
- ② 在宅福祉サービスセンター事業
- ③ 日常生活自立支援事業
- ④ 生活困窮者自立相談支援事業（家計改善支援事業は4月より新規事業）
- ⑤ 手話奉仕員養成研修事業
- ⑥ 生活支援体制整備事業
- ⑦ 在宅重度身体障害者訪問入浴サービス事業
- ⑧ 移動支援事業
- ⑩ 特定相談支援事業所の開設に向けた体制整備
- ⑪ ひきこもりサポート事業「さんぽみち」
- ⑫ 福祉用具の貸出・斡旋
- ⑬ 福祉バスの管理・運営
- ⑭ 赤い羽根共同募金、歳末たすけあい配分事業の実施

4 介護保険事業、障害福祉サービス事業

- ① 居宅介護支援事業
- ② 訪問介護事業
- ③ 訪問入浴介護事業
- ④ 自立支援居宅介護事業

資金収支予算



地域づくり川柳 ～地域づくり研修会より～

なんだっけは 元氣のあかし また言おう

(孫いないのに妻ジージさん)

笠間市社会福祉協議会

稲田支部長 高橋 一夫

令和2年度より稲田小中学校コミュニティスクール（学校運営協議会）制度が導入され、その委員に選出された。

その目的は、「学校と地域住民等との相互の信頼関係を深め、学校運営の改善や児童生徒の健全育成、地域住民との協働による学校づくりを実現する」ことである。

その第1回会議において、登下校時の安全確保が話題となり、社協の支部総会で協力について打診したところ委員



の賛同を得、7月、稲田地区全区長・全民生児童委員・学識経験者及び学校からの協力依頼により参加した方等28人の構成で児童生徒見守り隊が結成された。

隊員には、市からオレンジの「防犯」と書かれた帽子とビブスが貸与された。

内容は水曜日の1年生の下校付き添いと散歩やウォーキング、庭の手入れをしながらの見守りである。

今後より良い環境づくりに寄与して行きたい。

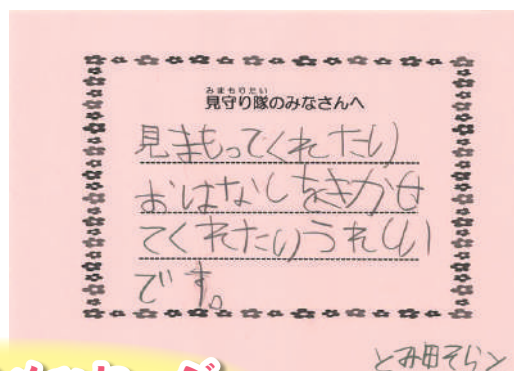
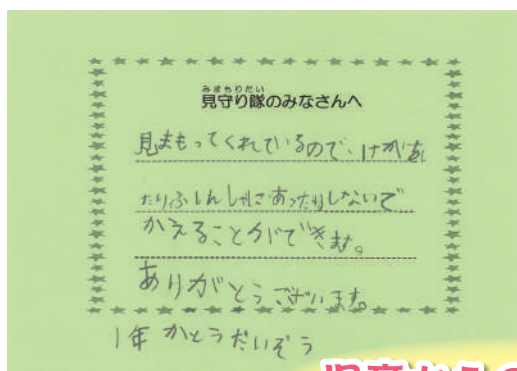
地域とともに歩む

稲田小学校長 加藤 宗治

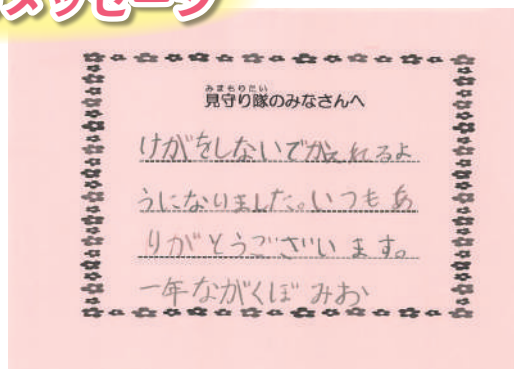
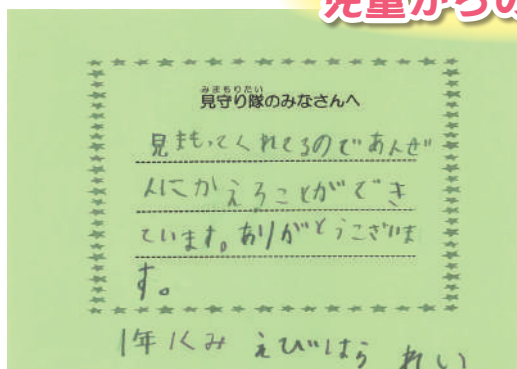
本校では、令和2年度よりコミュニティスクールがスタートし、協議会委員の皆様には、学校運営に積極的に参画していただいています。本校の課題の一つであった、登下校時の安全確保については、高橋会長さんによる地域への声掛けで防犯見守り隊が結成されました。毎週水曜の「1年生下校付き添い見守り」は、子どもたちが安心して下校できるだけでなく、見守り隊の方々と話をしながら、楽しく下校できるようになりました。

全国的に、少子化、核家族化が進み、また新型コロナウイルス感染症対策のため、地域の人達との交流も少なくなっている今、見守り隊の方々の活動は、有難い限りです。これからもコミュニティスクール制度を生かして、地域の方々との繋がりを大切に、ふるさと稲田を愛する子どもたちを地域とともに育成していきたいと思っています。

見守り隊員募集中



児童からのメッセージ



団地情報交換会を行いました

市内には、1970年代に造成された住宅団地が多数あります。40数年が経過し、住民の高齢化やひとり暮らし世帯の増加など、課題が見えてきました。同じ課題を持つ団地同士が情報交換し、より良い地域福祉活動を目指していきます。

令和2年11月24日にコロナ禍ではありますが、細心の注意を払いながら第1東宝ランド（岩間地区）と松山団地（友部地区）の情報交換会を実施しました。

団地特有の課題を共有し、第1東宝ランドからは「くらしサポートお助け隊」（住民有志による助け合い活動）の様子も伺いました。

近隣とのつながりが希薄化



している現在、身近な地域での助け合いや、つながりの再構築が見直されています。深刻な少子高齢化という課題を抱える団地同士ネットワークを作り、今後も情報交換を行っていききたいと思えます。参加してみたい団地の方ぜひご連絡ください！

（笠間市社会福祉協議会発行「地域づくり研修会ニュースレター」令和3年1月号より）
住所…笠間市美原3-2-11
電話…0296-77-0730

情報交換で 勉強になった

松山団地自治会長 原田 功

大変勉強になりました。松山団地では、65歳以上の方が65%を超え、今や限界集落となっておりま。

この情報交換会で、地域全体に見守り助け合いの精神が浸透し、自然体でやるべきことを行動に移し、理想的なコミュニティづくりを体感いたしました。

私たちのために情報交換会の場を設けていただき、ありがとうございました。今後ともよろしくご指導賜りたいと存じます。

団地連合の 実現を期待

第1東宝ランド区長 和田 透

今回の団地情報交換会は初の試みでしたが、団地の代表者が一堂に会して情報の共有化を図り、団地共通の問題点について話し合うことができて有意義でした。

今後、情報交換のみに止まらず、重要な地域課題に協同して取り組む体制の確立、すなわち生まれも育ちも同じような団地の連絡組織「団地連合」の実現を期待しています。

笠間市立病院へ応援金を寄付



笠間市福祉施設協働事業連絡協議会は、市内の保健・福祉施設や事業所で組織する任意の団体（令和2年度会員数42）です。

この会の活動は、施設や事業所がもつ専門的な技術を活かして、地域の福祉課題を解決するため、協働して事業を実施しております。

具体的には、市民の皆様へ施設を身近に感じていただくため施設見学会の実施、施設職員同士が横のつながりもてるような研修会や交流会の開催、フードバンクへの協力などの地域貢献事業を毎年行っています。

令和2年度は、コロナ禍のもとこれらの事業を実施することができない状態でした。何か地域に貢献できないか会員へアンケートを行い、役員で検討をした結果、日頃よりお世話になっている笠間市立病院へ応援金を寄付することになりました。

1月27日に大竹会長（ひまわり館）と室井副会長（フロイデ総合在宅サポートセンター友部）が市立病院を訪問し、感謝の意を伝えると共に石塚院長へ応援金（3万円）をお届けしました。石塚院長からは、「有効に活用します」とお礼の言葉をいただきました。

センターだより

く り を 目 指 し て

「第一火曜日の会」では「マスケースづくり」と「健康の秘訣講座」を行いました。「子育てママの応援講座」では、我が子のためにと手提げ袋やシューズ袋を熱心に行われる姿が印象的でした。「傾聴ボランティア養成講座」では、講師に茨城県力ウンセリングセンター永原信彦氏をお招きし、「共感力を持った人間だからこそ傾聴が可能」など、有意義なお話を伺うことができました。

笠間市ボランティア連絡協議会が笠間市長より表彰されました。

「第二火曜日の会」

マスケースづくり

地域福祉センターともべ 12人参加

クリアファイル（A4）から2種類のマスケースを、短時間で簡単に作ることができました。



好きな色のファイルを選んで

「健康の秘訣」

バランス食作りに挑戦

羽生 力（73）
地域福祉センターともべ 20人参加

私は昨年妻に先立たれ一人で暮らしている。毎日3食の食事をつくり朝には7種類の菓を飲んでいる。

この度「健康の秘訣」という講座があるということで「何か秘訣を教えてください健康に暮らせるのかな？」と軽い気持ちで応募した。

会場は15人の定員にもかかわらず20人を超えていた。

講師の先生は「日頃からバランスの取れた美味しい食事をとることで病気を予防し治療する。特に食材の組み合わせが重要である」と説かれた。

講義を聞いて私は愕然とした。栄養のバランスどころか食べたものを食べてきた。「秘訣」は私にとって大きな課題となった。

食事を作り始めて約2年、一人分の食事を作るのは非常に大変である。

今日から私の「バランス食作り」への挑戦が始まった。



講師の藤増先生

令和3年度 ボランティア講座のお知らせ

講座名	講座内容
読み聞かせ講座	「読み聞かせボランティアをはじめたい」「読み聞かせに興味がある・・・」そんな皆さんに、フリーアナウンサーの高信佳子先生が発声の基礎や伝え方を教えます。
傾聴ボランティア養成講座	人は誰かに自分の心の喜び、悲しみ、苦しみなどの感情を話したい時、そばに良き聴き手が必要となります。相手の話に耳を傾けること、気持ちに寄り添い受けとめることなどを学びます。
料理講座	高齢者の食事について学習し、地域の食事づくりやボランティア活動に参加していただくことを目的としています。調理を通して、食に対する知識や安全性を学び楽しく活動してみませんか。
福祉体験ボランティア養成講座	市内の学校や地域に出向き、福祉体験（シニア体験・車いす・点字・手話）をサポートするボランティアを養成する講座です。福祉体験を通して「共に生きる力」を育むお手伝いをしてみませんか。

ボランティアセンター
笠間支所 TEL 0296-78-2626 FAX 0296-78-3933
岩間支所 TEL 0296-73-0084 FAX 0296-72-3722
TEL 0299-45-7889 FAX 0299-45-6250

詳しくは、「広報かさま お知らせ版」をご覧ください。

令和3年度「第一火曜日の会」の予定

月 日	内 容
4月	ものづくり 「フェルト生地ですてんバック」づくり
7月	研修会 「終活とは」
11月	講演会 予定
2月	ものづくり 予定

問い合わせ 笠間市社会福祉協議会
ボランティアセンター
TEL 0296-78-2626

※コロナ感染症の状況等で変更になる場合があります。

地域づくり川柳 ～地域づくり研修会より～

幸福は 自分^{ひと}のことより 他人のため

(シシドのカッチャンさん)



傾聴の練習をする

ボランティア

住みよいまちづくり

11/25

傾聴ボランティア養成講座

講師

茨城県カウセンシングセンター 永原 信彦氏

会場 地域福祉センターともへ 22人参加



「心を通わせ合うことで」

和土 春佳

傾聴とは何か、茨城カウセンシングセンターの永原信彦氏より、ご教授頂きました。人間は本来共感力を持っているそうです。人工知能のように解答するのでは無く、心に呼応できるのは、人間だからこそ成し得ることです。

傾聴実践の際、この日初めてお会いした女性に、お話を聴いて頂きました。僅かな時間でしたが、柔らかな眼差しと、印象的な笑顔が今でも心に残っています。

安心感に支えられ、明日も元気で生きていく。心を通わせ合うことで、家族も友人も、初対面の人でさえ、幸せ気分では毎日過ごすことができるのではないのでしょうか。

「受容」と「共感」

大高 幸夫

浅学非才の身ながら保護司と民生児童委員をやっている。相手の話を聴くとき、長年勤めた職業のせい、話の内容に嘘はないか、矛盾はないかなど真偽を確かめながら聴いてしまう。もう少し柔らかく会話ができないものかと思いつつ受講しました。

受講して分かったことは、応答には正しいことをわかりやすく論理的に伝えようとすると「答える」と、受容し、共感して、相手の今の気持ちをわかってもらうとする「応える」があり、傾聴は後者で相手との「心のつながり」を最優先に話に込めることの大切さです。

傾聴的態度は受容と共感の態度を実際に表わす態度で意識してやろうと思います。



子育てママの応援講座

2/24水 手提げ袋 7人参加
3/10水 シューズ袋 5人参加



岩間支所を会場としてお子さんの入園・入学に向けてオリジナル手さげ袋やシューズ入れを作る講座を開きました。講師はボランティアサークル「つむぎの会」のみなさん。また今年は笠間支所のボランティア数名の応援もありました。

ボランティアが丸となって

1月30日に「令和2年度笠間市表彰」の一般表彰団体の部で、笠間市ボランティア連絡協議会が表彰されました。コロナウィルス感染症が発生しマスク不足になった際、いち早く、ボランティアの皆さんが一丸となって手作りマスクを作成し、市の施設に寄贈したことなど、日頃の各サークルの長年のボランティア活動が評価されたものです。



・・・参加して・・・
はじめて参加しました。出来上がった手さげ袋を見て感激しています。子どもの喜ぶ顔が目に見えます。家でひとりで作っていたら何日かかっても仕上がることはなかったと思います。ボランティアの皆さんに感謝。
♡和やかな雰囲気楽しく作ることができました。子どもを安心して預けられたのが一番良かったです。

第8回笠間市社会福祉大会

6団体と個人26人が表彰・感謝を受けました

令和3年2月11日(木)に、笠間公民館において開催を予定しておりました、第8回笠間市社会福祉大会(2年に1回)につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。

受賞された、5団体・23人の方々には笠間市社会福祉協議会会長より表彰状、善意銀行へ寄付された、1企業・3人の方々には感謝状をお届けしました。おめでとうございます。

福祉施設団体役員

小松崎洋治

(社会福祉法人松英会)

ボランティア

笑いヨガリーダー会(笠間地区)

やまざくら(笠間地区)

和友会(友部地区)

めだかクラブ(岩間地区)

心配ごと相談員

泉 知夫 (友部地区)

支部地区社協

鈴木 裕 (北川根支部)

水田 諭 (北川根支部)

小川 慎吾 (北川根支部)

社会福祉協議会広報委員

飯野千賀子 (笠間地区)

塙 敦子 (友部地区)

石郷岡 誠 (岩間地区)

笠間市社会福祉協議会

会長感謝

善意銀行への寄付

有限会社 三共金属工業所

代表取締役 鈴木 茂男

河本 昭三

小林千代子

川又登志子



シトラスリボンプロジェクト in かさま

ご報告

前回掲載しました「シトラスリボンプロジェクト」。皆様のご協力により地域にわたる輪が広がっています。

◆作成にご協力いただいた皆さん

- ・県立笠間高校・友部高校JRC部
- ・市内ボランティア
- ・宍戸支部女性部手作り会

高校生や地域の皆さんの協力により、5,000個のリボンを作成することができました。ご協力ありがとうございました。

リボンは市役所や関係機関などに配布し、あたたかい「ひとの輪」を広げることができました。社協ではコロナの収束後も、誰もが暮らしやすい地域を目指していきます。



ちよっといい話

私たちはこの一年以上をコロナと付き合ひ生活してきました。専門家によると年内収束は見込めずとの見方ですが、この感染症は個人の身体だけでなく、社会にも大きく影響しました。

例えば、度重なる外出自粛等の影響で地域の見守りが減少した可能性で、児童虐待が過去最高件数(令和2年警察庁による調査)となる残念な報道がありました。

しかし暗いニュースだけではありません。特集でも取り挙げたとおり、市民が共同で児童の登下校を見守るネットワークが自発的に立ち上がりました。そう、ピンチがこれまでを大きく変える機会にもなり得るのです。

今こそチャンスと捉え、子どもも高齢者も全ての人が地域で安心して暮らせる仕組みを市民が主体となつて創れば、収束した後の世代にも誇れる未来を遺せるのではないのでしょうか。

(入江)



善意の寄附を「ありがとう!!!」

(善意銀行預託)



令和2年11月1日～令和3年2月28日まで（順不同・敬称略）

物 品

エコキャップ・使用済み切手・
食品・日用品など

橋本 文知
山本 美子
水田 諭
浅野 克也
富田 桂子
ありんこ
（株）笠間ソフトメン橋本屋
イチカワユニオン岩間支部
カントリークラブ ザ・レイクス
セキスイハイム工業（株） 関東事業所
ナブコシステム（株） 茨城支店
岡本興業（株）
（株）DCL
（株）イシカワ
（株）本間商事

森田屋 入江勇太
真知美容室
泰栄電器（株）
芳野工業（株）
明治安田生命 笠間営業所
いわま保育園
おしのべ保育園
くるす保育所
さくら幼稚園
すみれこども園
ともべ保育所
ともべ幼稚園
みか保育園
めぐみこども園
稲田小児童クラブ
岩間第一小学校
大原小児童クラブ（ポプラの会）

大沢保育園
友部中学校
高齢者クラブ 旭台睦会
上郷地域うまい米づくり研究会
生長の家茨城県教化部 白鳩会
土師地区社会福祉協議会
（福）木犀会 ひまわり館
県立中央病院（施設課・消毒室・リネン室）
（福）自立奉仕会 茨城福祉工場
匿名（3件）

金 銭

河本 昭三	10,000
（有）三共金属工業所	300,000
（株）飯岡工業	200,000
匿名（4件）	39,154

茨城県立中央病院エール募金ご協力のお礼

昨年12月28日から1月29日まで行った、新型コロナウイルス感染症の治療を最前線で行う県立中央病院を応援する「エール募金」に多くの方々から賛同をいただきました。

皆さまからお預かりした**総額3,550,285円**は、2月4日（木）県立中央病院にお届けしました。皆さまからのご厚意に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

県立中央病院から笠間市と社協に
感謝状をいただきました。
（3月16日）



福祉ヤクルトより寄贈

令和3年2月15日に株式会社水戸ヤクルトより車椅子4台が寄贈されました。車椅子は、笠間市役所で市民のために有効活用させていただきます。ありがとうございました。



地域づくり川柳 ～地域づくり研修会より～

友達は みんな仲良く ニコニコと

(足踏む名人さん)

インフォメーション *information*

笠間市自立相談支援窓口について

自立相談支援事業

経済的な問題で生活に困っている方、長く失業している方、引きこもりで悩んでいる方など生活の問題を抱えている方はどなたでもご相談ください。

令和3年4月～新規事業

家計改善支援事業

お金の問題をどうすれば解決できるのか家計表など活用して家計の改善策を一緒に考えます。また、必要に応じて専門家への相談に同行もします。

住居確保給付金

主たる生計者が離職・廃業後2年以内で就職をするために住居を確保することが必要な場合の家賃を支給します。

※持家の場合は、対象になりません。

ずっと働いていないので就職が不安。

収入より支出が多くある。

家賃が払えず家を出なければならぬ。



お問い合わせ

笠間市自立相談支援機関
(笠間市社会福祉協議会内)

TEL 0296-77-0730

※コロナの影響で収入が減少している方もご相談ください。

相談は無料です。生活・仕事・お金など困っていることについて、1人で悩まずご相談ください。訪問でのご相談にも対応いたします。

ひきこもりサロン「さんぽみち」を開催しています♪

<活動の様子>



ひきこもりサロン「さんぽみち」とは？

ひきこもりがちな方や家族を対象に「ホッ」とでき、ゆっくり気軽に過ごせる「居場所」となっております。ご家族の方々の参加もお待ちしています♪

開催日時

毎月第4金曜日 午後2時～3時30分
地域福祉センターともべ 2階和室



世の中、コロナ騒動で持ち切りである。それが社会の有り様を変えて、例えば、社協の支援を必要とするような経済的困窮者を産み出している。もとより、本紙の編集委員が携わる「社協だより」も例にもれない。しかし、この騒動を早期に収束させ得る可能性のあるワクチン接種が始まった。長い長い自粛生活のあとの光明。春がそこまで来ているようである。
(白土)

編集後記

心配ごと相談所開設日程表

日常の困りごとなど何でもご相談ください(無料・秘密保持)

時間: 13:00~16:00 (受付は15:30までをお願いします)

場所	社協笠間支所 [第2・4火曜日] TEL 0296-73-0084	地域福祉センターともべ [第2・4水曜日] TEL 0296-77-0730	地域福祉センターいわま [第1・3木曜日] TEL 0299-45-7889
5月	11日・25日	12日・26日	6日・20日
6月	8日・22日	9日・23日	3日・17日
7月	13日・27日	14日・28日	1日・15日
8月	10日・24日	25日	5日・19日

※その他、法律相談もあります。

地域づくり川柳 ～地域づくり研修会より～

このちいき しあわせさがして たすけあい

(デリボーイくりさん)